

日本歴史時代作家協会

第5回 通常総会 議事録

日時：令和7年6月29日（日）16:00～

形式：オンライン・リモート会議（Zoomを使用）

出席者（敬称略）：三田誠広、菊池仁、加藤淳、飯島一次、伊多波碧、橘かがり、久宗圭一、森田健司、理流、柏原弘幸、石河大、上田早夕里、亀和夫、斎藤光顕、左門新、永田勝久、西山ガラシャ（計17名）

配布資料：

- ・ 第5回通常総会議案書
- ・ 第1号議案：令和6年度事業報告書
- ・ 令和6年度貸借対照表
- ・ 令和6年度損益計算書
- ・ 令和6年度（2024年度）監査報告書
- ・ 第3号議案：令和7年度事業計画案

【議案】

- ・ 令和6年度事業報告
- ・ 令和6年度活動決算
- ・ 令和7年度事業計画案

加藤理事の開会宣言の後、議長の選出が行われ、久宗圭一理事が賛成多数で議長に選出されました。

また、本総会の議事録については録音が実施され、理流理事が書記を務めるとともに、橘かがり理事および加藤理事が議事録署名人となることが承認されました。

加藤理事より、出席者数の報告がありました。

- 正会員総数 82 名
- 出席者数 17 名
- 委任状による出席 24 名
- 出席者合計 41 名
- 出席率 50%

正会員の過半数が出席しているため、会則第 19 条に基づき、本総会は成立要件を満たしていることが確認されました。

■ 第 1 号議案：令和 6 年度事業報告書（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）

加藤理事より、第 5 回通常総会議案書に基づいて以下の事業について報告がありました。

1. 電子書籍事業の実績と再構築に向けた進捗
2. 日本歴史時代作家協会賞および授賞式の実施
3. シェア型書店「ほんまる」での展開

4. 合評会の実施状況

5. 会報の発行実績

また、事業が広がってきたことにより、改めて協会の運営組織体制の見直しと検討を行い、協会の諸活動を推進実行する「事業部門」と、事業部門の活動をマネジメントする「管理部門」に二分し、更に「事業部門」を、収益を目的とするプロフィットセンター部署と、収益を目的とはしないコストセンター部署 に区分すること。各部署の責任者は理事が務めることとした。この組織体制見直しに付随して、予てより懸案となっている協会の法人化も推進していくこととなった。今後、会員の意見をまとめて総括して再検討し、令和7年度に具体的に進めていく予定である。

■ 第2号議案：令和6年度活動決算書（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

理流理事より、当協会では営利事業を行っていることから、法人税の申告・納税が必要である旨の説明がありました。

あわせて、営利事業・非営利事業を含めた協会全体の決算活動について、財務諸表および貸借対照表に基づく詳細な報告がなされました。

また、監査役の柏原弘幸氏より、会計監査および業務監査が適正かつ正確に実施された旨の報告がありました。

※第1号議案および第2号議案については関連性が深いため、まとめて議決が行われ、賛成多数で承認されました。

■ 第3号議案：令和7年度事業計画案（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

加藤理事より、令和7年度の事業計画案が以下の3区分に分けて発表されました。

【対外事業】

- ・「歴史行路文庫」電子書籍事業にて年間10タイトルの刊行
- ・「ほんまる」での継続的な企画実施

- ・一般向け有料講演会のオンライン開催（年1回以上）

【協会事業】

- ・協会文学賞の継続実施と内容の充実を図った授賞式の開催

【会員向け事業】

- ・会員作品の合評会を複数回開催
- ・合評会と「歴史行路文庫」事業との連動による出版支援
- ・史跡・歴史名所を探訪する歴史散策（年2回以上）
- ・会報の年2回（半期ごと）の発行
- ・メールマガジンの創刊と定期発行
- ・一般向け文学関連展示会への出展

本議案についても賛成多数により承認されました。

以上